

国際ロータリー2790地区 第10分区

合同例会及び
Intercity Meeting



I.M. テーマ

『ロータリーと地域社会』

| | | |
|--------|---------------|-----|
| 主催 | 第10分区ガバナー補佐 | 宮 寛 |
| 開催日 | 2013年2月19日(火) | |
| 会場 | れいたくキャンパスプラザ | |
| ホストクラブ | 柏南ロータリークラブ | |



2012～2013年度 国際ロータリー第2790地区 第10分区合同例会及びI. M. プログラム

【日時】2013年2月19日(火) 12:00～

【場所】れいたくキャンパスプラザ 3F

《合同例会》 司会 ガバナー補佐幹事 山崎康弘

| | | | |
|--------|---------------|------------------------|--------|
| 11:30～ | 登録受付 | | |
| 12:00～ | お食事 | | |
| 12:30 | 点鐘 | | |
| | 国歌斉唱 | | |
| | ロータリーソング | | |
| | 来賓紹介 | ガバナー補佐 | 宮 寛 |
| | 物故会員への黙祷 | | |
| | 参加クラブ紹介 | ガバナー補佐 | 宮 寛 |
| | ホストクラブ会長歓迎の言葉 | 柏南RC会長 | 小高 潔 |
| | 幹事報告 | 柏南RC幹事 | 森 秀樹 |
| | 基調講演 | 公益財団法人モラロジー 研究所企業部長 | 永治 達彦氏 |
| 13:20～ | 休憩(10分) | | |

《I. M.》 司会 ガバナー補佐幹事 山崎 康弘

テーマ『 ロータリーと地域社会 』

| | | | |
|-------------|----------------------------------|--------|-------|
| 13:30～ | ガバナー補佐開会の挨拶 | ガバナー補佐 | 宮 寛 |
| 13:35～ | 各クラブ提言(各クラブ提言終了後に質疑応答で15分) | | |
| 13:35～13:50 | 柏南RC・・・「ロータリーと地域コミュニティ」 | | 田中 駿平 |
| 13:50～14:05 | 柏RC・・・「食育の授業」 | | 鈴木 秀一 |
| 14:05～14:20 | 我孫子RC・・・「ロータリーと地域社会」職業奉仕を通じて | | 上村 晃一 |
| 14:20～14:35 | 柏西RC・・・「柏西ロータリーとFacebook」 | | 水野 晋二 |
| 14:35～14:50 | 柏東RC・・・「柏東ロータリークラブの地域社会奉仕活動について」 | | 荻野 勝 |
| 14:50～ | 休憩(15分) | | |
| 15:05～ | 総評 | ガバナー補佐 | 宮 寛 |
| 15:20～ | 前ガバナー補佐への感謝状及び記念品贈呈 | ガバナー補佐 | 宮 寛 |
| | 次期ガバナー補佐紹介 | ガバナー補佐 | 宮 寛 |
| | 次期ガバナー補佐挨拶 | 柏RC | 風澤 俊夫 |
| | 次期ホストクラブ会長挨拶 | 柏RC | 常井 典夫 |
| 16:00 | 閉会の点鐘 | ガバナー補佐 | 宮 寛 |

《懇親会》

| | |
|--------|--|
| 16:15～ | 前ガバナー補佐、ガバナー補佐、補佐幹事、各クラブ会長・幹事、発表者 次年度ガバナー補佐、次年度補佐幹事、次年度会長、次年度幹事、 レストラン「まんりょう」にて行ないますので是非ご参加ください。 |
|--------|--|

御挨拶



第10分区ガバナー補佐 宮 寛

皆様こんにちは。

本日はIntercity Meetingの為に当廣池学園の会場に、たくさんの方がお集まりいただきまして大変ありがとうございます。

今回は基調講演といたしまして、永治先生の企業理論についてのお話を伺いたいと思っています。

永治先生は、大変ロータリー活動にも造形が深く、きっと有意義なお話が聞けるものと期待をしております。

引き続きまして、各クラブによるロータリーと地域活動と題しまして各々にご発表いただき、それらに対する質疑応答をしていただきたいと考えております。

1年を通して、各クラブにおかれましては、地域密着型のいろいろな奉仕活動をしておられると思いますが、この機会にそれらを発表していただき、各クラブ間の情報交換を行い、今後の地域奉仕活動の参考にしていただければ幸いです。

限られた時間ですが、有意義なIntercity Meetingになることを祈って皆様のご協力をよろしくお願い致しまして御挨拶とさせていただきます。

合同例会並びに
I n t e r c i t y M e e t i n g
の開催を祝して



柏市長 秋山浩保

国際ロータリー第2790地区第10分区の「合同例会並びにI n t e r c i t y M e e t i n g」の開催を心よりお祝い申し上げます。

皆様には、常日頃より柏市政の運営に対しまして温かい御理解と御協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

さて、一昨年3月に発生した東日本大震災に伴う原発事故への対策として、柏市では、公的な施設は市が主体となり、それ以外の部分については市民の皆様の御協力により、除染作業を進めてまいりました。

一つずつ除染対策を積み重ねてきた結果、昨年後半には、市民の皆様にも安心感が戻ってきたと手応えを感じるようになってまいりました。今後も市民の皆様と協力し、より安心して暮らすことができる街にするため、放射線対策に力を注いで参ります。

また、こうした災害に対しての復興に向けた取り組みは、まず行政機関が率先して復興支援を行なうことが重要ではございますが、きめ細かな活動を継続的行なっていくためには、多くの奉仕団体やボランティアの方々の協力や助けが非常に大切であることはいまでもございません。

皆様方が、柏に確固たる基盤を築き、地域に密着した奉仕活動を誠意を持って取り組み、様々な活動を継続しておられることにつきましては、安心、安全なまちづくりを推進しております本市といたしましては、たいへん心強く、頼もしく思っております。

今後とも引き続き市政への御支援、御協力を賜りますことを心よりお願い申し上げます。

結びにあたり、国際ロータリー第2790地区第10分区の益々のご発展と、会員の皆様の更なるご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

合同例会及び
I n t e r c i t y M e e t i n g
開催を祝して



我孫子市長 星野順一郎

国際ロータリー第2790地区第10分区の『合同例会及びI n t e r c i t y M e e t i n g』が、盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

ロータリークラブの皆さまには、日ごろよりさまざまな奉仕活動や寄付事業などを積極的に展開され、地域社会の発展と福祉の向上に大きく貢献していただいております。この場をお借りして御礼申し上げますとともに、そのご功績に対し、深甚なる敬意を表します。

皆さまもご承知のように、先頃の震災や放射能汚染等、未だ解決出来ずにいる問題がある中で経済情勢は未だ厳しい状況が続いており、市民生活にも不安な空気が漂っています。地方自治体もまた、財政の硬直化が進む一方で、求められる行政サービスはますます多様化し、より効率的で効果的な施策が必要となってきました。

2012-2013年度国際ロータリーテーマとして「平和が私達の焦点、そして目標」とございますが、地域と深く関わりながら活動をされているロータリークラブの皆様の強固な団結力と奉仕の精神は、地域社会において、今後より一層重要になってくるものと思われまます。

行政としても、厳しい財政状況ではありますが、市民の皆様に安全で安心な生活を送ってもらえるよう、創意工夫をし、市が抱える様々な課題に取り組んでまいります。そして、地域の皆様と共に考え、行動し、活力ある我孫子市を築いてまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

<講師プロフィール> (平成25年1月1日現在)

永治 達彦 (Tatsuhiko Nagaya)

公益財団法人モラロジー研究所

生涯学習本部・企業部 部長

社会教育講師

モラロジー・ビジネス・インストラクター (MBI)



昭和35年、千葉県柏市生まれ。昭和58年麗澤大学外国語学部英語学科卒業。

同年4月、東邦生命保険相互会社入社。本社で事務と営業を経験後、平成元年から平成3年まで同社提携先ドイツ企業3社、ミュンヘン再保険会社、バイエルン合同銀行、化学大手のデグサ社で勤務、ミュンヘン、フランクフルト、ルクセンブルクに駐在。

ドイツ滞在中にベルリンの壁の崩壊と東西ドイツの統一を体験。

平成4年から本社国際業務部、平成9年から12年まで、米国ニューヨーク現地法人・東邦アメリカ社取締役副社長としてホテル経営や不動産投資管理などの資産運用業務を中心に経営実務全般を担当。米国から帰国後の平成12年5月より、公益財団法人モラロジー研究所奉職。平成18年4月より現職。

モラロジー研究所社会教育講師、MBI (モラロジービジネスインストラクター)

▼ 執筆担当したテキスト・・・公益財団法人モラロジー研究所刊行

『未来をひらく人間力 心を磨く新入社員心得帖』 (平成19年)

『企業永続のためのリーダー社員の間力 心とビジネススキルを鍛える心得帖』
(平成23年)

『道経塾』平成23年7月号から隔月で、リーダーズ・ドリルのビジネスマインド編を執筆中 (平成25年5月号迄予定)

「ロータリーと地域コミュニティ」

柏南ロータリークラブ
田中駿平

◎ロータリー活動の意義は、会員が相互の親睦を深めながら、奉仕（職業、社会、国際）を通して国内・国際社会に貢献することにある。

・「職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが育成、支援する方法である。」（『手続要覧』）

・「ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することである。」

・「ロータリーの国際奉仕の目指していることは、奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進することにある。」

・I serveそれともWe serve?——どのような形をとっても、それに関するロータリアン一人ひとりが奉仕の精神で取り組むことが大切。

・「奉仕は義務であると考えた西欧人と奉仕は惻隱の情から出たと考えるアジア人の心の温かさ。」「人間は、慈愛の奉仕を実践しながら生きることによって、天寿を全うすることができ、幸福な人生、即ち真に価値のある人生を生きることができる。」

（RI理事・朴 柱寅氏、2012-13地区大会講演）

・「収入や売り上げを増やすことや、自分の会社をほかの会社よりも良くすることだけでなく、人として、職業人として、もっと高い目的を持って人生を送りたいと思うようになりました。ほかの人の役に立つことが人生で最も大切だと思うようになりました。」（田中作次RI会長『ロータリーの友』2013年1月号33頁）

◎柏南RCと地域コミュニティとの関係

1. 他団体との共同の活動

- (1) 献血運動への参加
- (2) 地域清掃奉仕への参加

2. 柏南RC独自の活動

- (1) 年度末の光ヶ丘地域の独居老人への花鉢の贈呈
- (2) ポリオ撲滅運動への支援：ワンコインニコニコ

3. 個人会員の職場、特性を活用した活動

- (1) 観音寺を中心にした活動
- (2) 麗澤大学（廣池学園）を中心にした活動
- (3) 米山奨学生およびOBとの関わりを中心にした活動
- (4) 柏神社での年始会の祈念式



柏ロータリークラブの地域社会奉仕活動の取り組みの一例

柏ロータリークラブ
鈴木秀一

東葛六市の和洋中のレストラン18店舗で組織する東葛六市レストランサミットでは、昨年より主に小学校3年生を対象に、「食育の授業」を小学校で行っております。

授業概要

「食育授業」は五感を活用しながら、味の基本となる5つの要素（「しょっぱい」「すっぱい」「にがい」「あまい」「うまみ」）についての知識や味わうことの楽しみに触れる体験型学習です。食のプロフェッショナルであるシェフや板前などが講師を務めます。

「五感を研ぎ澄ませ、味の基本について学ぶ」

はじめに味の基本となる5つの味覚について子どもたちに説明します。食材（塩、酢、チョコレート、砂糖、だし など）を子どもたちに渡し、匂いを嗅がせたり、食感を確かめさせたり、実際に味わったりさせながら、味についての子どもの理解と関心を促します。五感を使い、感覚を研ぎ澄ませることにより、味わうことや食べることの楽しみを実感するための基礎を作ります。

「食べる楽しみを広げる！」

味の基本や味わうことの大切さを学んだ後、シェフやパティシエが持参する味見用食品をクラスメイトと一緒に味わいます。シェフやパティシエが子どもたちとコミュニケーションをとりながら、料理に対する自身の思いや意識して食べることの大切さ、食に携わる仕事などについて自らの言葉で語りかけます。また、子どもたち同士でも感想を述べ合うなど、食べる楽しみを広げるに欠かせない表現力を養います。



「ロータリーと地域社会」職業奉仕を通じて

我孫子ロータリークラブ
上村晃一

今日のテーマである「ロータリーと地域社会」についてロータリー精神を学んだ一会員としてこれまで地域社会に於ける活動を報告させていただきます。

私は1971年度28歳の時に事務所を開設し5年目の33歳で人に勧められ我孫子ロータリークラブに入会以来40数年になります。入会から6～7年は昼の食事の為に出席しただけでロータリーについて何も知りませんでした。たまたま、我孫子ロータリークラブの13代会長の井上先生から幹事を指名され無我夢中で努めさせて頂いた1年後に、また14代会長の星野邦夫先生に引き続き幹事を命ぜられました。まだ会社を始めたばかりで忙しかった為、ロータリーについてはI serveでWe serveではないのだと各種セミナーで度々学びました。

ロータリーには職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕がありますが国際奉仕などと云われても何をするのかまるで他人事でした。その後、数年たって星野先生がフィリピンで医療奉仕活動を個人で始められて我孫子クラブも少し参加する事になりその活動が皆様ご存知のように大変おおきな国際活動に発展してきております。同じ様に井上先生もその後スリランカの幼児教育を個人で支援活動を始められ現在はスリランカの唯一の私立幼稚園と私立の小中学校から専門学校に発展してしております。私は井上先生と星野先生という両大先輩の基で幹事を命ぜられ学んだ事は、即ち個人の活動はやがて広がって大きな活動となり大切な事であると確信し、これまでの私のロータリー活動の原点であります。私は国際的にはとても出来ませんが、先ずは我孫子市に於いて最初に「我孫子建設業協会」を地元の同業者と設立し、それまで地元業者が参加できなかった公共工事を多くの地元会員が参加できるようになりました。同時に商工業の発展が難しい為、市当局も何とか方法をと考えている時代に、今こそ若い力を結集して団体、即ち異業種の地元商工業者による「我孫子市青壮年会議」を発足させ、その町にロータリーと同様に会長を一年交代として定款にして現在にまで続いております。

我孫子市青壮年会議を発足以来、各種活動を実践する為には先ず商店街活性化には大きな母店が必要と仲間と「ショッピングセンター」を企画提案し実現しました。また工業団地が無い為、各種工業団体、他企業にも計り「我孫子市工業団地造成委員会」を発足させ実施案まで作成しました。会としては活動しているものの残念ながらまだ実現までには至りません。商店街を発展させる為に、当時の我孫子市都市計画では各駅前商業地域が無い土地が多くあり将来の人口増加が推察する中で人口動態に見合った都市計画案を独自に作成し各種団体他、市当局にも協力して頂き「我孫子市総合都市計画研究会」を発足させ、やっと商業地域の拡大が決定、実現されました。

引き続き、当時の我孫子市全体の産業関係のイベントが無かったので「我孫子市産業まつり」を提示され執行委員会を設立し現在に至るまで、毎年10月に産業まつりを開催、3万人余りの市民が参加し現在は35回を迎える程のイベントとなりました。

また地域活動としてPTA活動での小学校30周年記念、中学校10周年記念等を始め、市の観光推進と産業物産の発展の為に公社の理事長も永年努めて参りました。

「我孫子市倫理法人会」の設立もやって参りましたが、やはり最近では我孫子市全体を活気づけるという事で各種業界団体、企業、個人を始め市当局とも協力して頂き、「我孫子市スポーツ復興応援団」を組織して中央学院大学の箱根駅伝部とNECグリーンロケッツのラグビー部を応援する事で我孫子市の名を高め、また市民同士の連携感を広げる機会があればと市民組織の拡大を図り、今では多くの市民やロータリーの仲間と共に毎年1月2日には大型バス5台から7台を連なって箱根へ応援に行くようになり8年目を迎えるまでになりました。

以上、私がロータリーに若くして入り、地域活動が少しでも実施できたのは先輩他、多くの仲間に学んだ事が活かされた事で現在まで生き残れたのだと実感しております。ロータリーの「四つのテスト」に「今迄の活動が適切であるか」を常に自身で意識してきた事が多くの友人との縁を持てた要因と思います。

ロータリーは奉仕理論と実践をよくいわれますが、それ以上に我々実業人は実績が無ければ信用されません。

自分自身28歳でサラリーマンから我孫子に建設会社をゼロから設立させ多くの方々から工事をさせて頂き公共工事、民間工事の土木、建設の各種工事ができる会社にまでできたのは、多くの皆様への感謝と「皆がよくなれば自分も育てられる事だ」と実感しながら実践できたのだと思います。

また15年前にビジネスホテルを設立し、現在3店舗迄になりましたが後継者育成、社員教育は経営する責任として一番大事な事で、お陰様で私も10年前に社長を退き一線からは去りました。今後、ロータリーが現在の活動から本来の目標とした「原点に還った活動」をする様に祈ると同時にロータリーに出会えた事を感謝し報告と致します。



柏西ロータリークラブとFacebook

柏西ロータリークラブ

水野晋二

皆様こんにちは。柏西クラブの今年度IT・雑誌広報委員会の委員長をしております水野晋治と申します。よろしくお願ひ致します。

私の職業はITとは全く縁遠い仕事で、職業分類はビルメンテナンスです。

そんな私でもFacebookは簡単に始められ、クラブの公式アカウントも主に携帯を使って運用が簡単にできてしまいます。

本日は柏西RCでのFacebookの活用事例をご紹介します。

当クラブではFacebookの公式ページは本年度より新たな試みとして始めました。

クラブの公式アカウント及びページを作成したのは昨年9月15日です。

聞くところによると2790地区で最初に始めたという事ようです。

ちなみに公式アカウントの作成はわずか5分程度の簡単な情報入力で行う事ができます。その後少しずつ投稿や写真、友達を追加して行き現在のページが成り立っています。

一度アカウントを作りログインすると以降簡単に投稿や写真の掲載ができます。

これまでのRCでの外部広報ツールとしては他のクラブでも同じでしょうがホームページを作り活動報告やその他の情報の掲載をしておりますが、書き替えには専門的な知識が必要で専門業者に頼むと費用も発生します。また、何よりもその場ですぐに情報を掲載するというのは難しい事でした。（情報に遅れが出ます）

これがFacebookを使うと無料で様々な最新情報を発信する事ができます。

本日はその活用方法のほんの一例をご紹介しますが、まず最初にFacebookについて簡単にご説明をさせていただきます。（以下ウィキペディアより抜粋）

Facebook（フェイスブック）は、フェイスブック株式会社が提供するソーシャル・ネットワークワーキング・サービス（SNS）である。「FB」と略されることもある。

2004年にアメリカの学生向けにサービスを開始した。当初は学生のみ限定していたが、2006年9月26日以降は一般にも開放された。日本語版は2008年に公開。13歳以上であれば無料で参加できる。実名登録制となっており、個人情報の登録も必要となっている。

公開後、急速にユーザー数を増やし、2010年にサイトのアクセス数がGoogleを抜き話題になる。2011年9月現在、世界中に8億人のユーザーを持つ世界最大のSNSになった。

2012年世界の利用者は2012年10月に10億人を突破したと言われています。

また、日本の利用者も2012年7月現在で1千万人を超えました。

FBの最大の特徴としては参加するには実名登録が原則となっています。

これが今までにない最大の特徴です。<http://ja.wikipedia.org/wiki/Facebook>

さてこれより実際にその柏西クラブのFBのページを見ていただきます。

<http://www.facebook.com/>

まずログインすると最初に表示されるページが最も基本的なページで「ニュースフィード」と呼ばれるページです。FBでは自分や友達登録した人の近況がこのニュースフィードに表示されてきます。

ここで近況や写真を投稿して他のFB利用者とその情報を共有していきます。

この「今何してる？」というテキストボックスに最大420文字の書き込みをする事や写真、動画を投稿する事ができます。

ここに管理人として私が例会の開催案内や、例会中の写真を投稿して行きます。

すると友達登録している人達のタイムラインにもその投稿が表示されて行きます。

次にその友達が興味や好感をもったら「いいね！」をクリックします。

これで基本的な交流が成立します。

時には投稿に対しメッセージを書き込んだり、シェアと言って他人の投稿やリンクを広めたい時に使うボタンもあり友達登録しているメンバーが適度に反応してくれる事によって少しずつですが広がって行きます。

まずはFBに参加し友達を増やし、他人の投稿や他のページを探し気に入った投稿やページに対し「いいね！」ボタンをクリックして下さい。

これだけで立派なFBユーザーです。

これまでの他のSNSでは意思表示をするにはある程度の書き込みやコメントを付けなければなりませんでした。FBでは「いいね！」をクリックするだけで興味を持ったもしくは、好感を持ったという意思表示になるという非常に簡単な仕組みがあります。

まだ当クラブでのFBの活用も始まったばかりです。これからはRC以外の友達を増やしRCの活動を広く知ってもらいたいと思っております。また、そこから会員拡大にもつなげていければと思っております。ぜひ本日お話しを聞いて頂いた方の中からも新たにFBに参加していただき友達を増やしていただきたいと思っておりますし、柏西クラブのページも検索していただき「いいね！」をクリックして下さい。

また、いずれはクラブ間の交流もFBを使って広げていければと思っております。



柏東ロータリークラブの地域社会奉仕活動について

柏東ロータリークラブ
荻野 勝

◎職業奉仕に関する活動

- 1) 高校生のためのインターシップ（職業体験）への支援
- 2) 高校生に対する職業講和

◎社会奉仕に関する活動

- 1) 沼南まつりへの協賛参加
- 2) ゴミゼロ運動（柏市主催）への協賛参加
- 3) ふれあいコンサートの実施
柏ジュニアストリングオーケストラによるケアハウス沼南の里における
コンサートの実施
- 4) 柏市南部地区の子供まつりへの協賛参加

◎国際奉仕に関する活動

- 1) 柏市国際交流協会へ協賛

◎新世代・青少年に関する活動

- 1) 柏市フットサルフェスティバルへの支援
- 2) 沼南書道会への支援

◎その他

- 1) R財団の地区財団活動資金（DDF）の活用
本年度は特別養護老人ホームへの車椅子の寄贈



